

学習コンテンツ 利用の手引き

コンテンツタイトル すてきな景品をゲットしよう！ ～得するかもね？～

対象学年 小学校 高学年

学習のねらい キーワード検索中に偶然目にとまったり，ポップアップによって知らされた「懸賞・プレゼント応募サイト」の景品につられて安易に個人情報を公開することの危険性を理解させる。



学校で指導する際の学習展開例

	児童の学習活動とスライド等の番号	指導上の留意点
導入	○スライド1～3 ・調べ学習の途中で突然探していないページが現れたことがないか尋ねる。 ・これまでに懸賞に応募したことがあるか体験を出し合う。	・自分の意思にかかわらず見つけてしまう仕組み まれた偶然性に気づかせる ・次の観点で話させる。 どこで見つけたのか？ 景品はなんだったか？ 当選したか？ 当選（落選）した時の気持ちは？
展開	○スライド4～5 ・ウェブサイトにも懸賞やプレゼントの応募ページがあることを知っているかたずね、雑誌やテレビのそれとの違いを考える。 ○スライド6 ○スライド6～9 ・模擬サイトを見ながら、自分だったらどうするか話し合う。 ○スライド10～11 ・「個人情報」とは何かを理解し、その流出が及ぼす影響を考える。 ○スライド12～13 ・悪用例を確認する。 ○スライド14～16 ・注意事項を確認する。	・数の多さや景品の豊富さに気づかせる ・自宅で手軽に気軽に応募できる便利さに気づかせる ・素直に気持ちをださせる ・得したい気持ちと不安な気持ちを対比させる ・具体的な悪用例を想像させる ・補足説明して危機意識を高める
まとめ	・学習を振り返り、感想を出し合う。	・応募サイトだけでなく、先生や親の許可が必要な場面があることに気づかせる

学習コンテンツの解説

子どもたちが一人調べに利用する資料は、図鑑などのペーパーメディアからインターネット上のサイト検索によるものへと推移してきている。インターネットの利便性はいままでもないのだが、本人の意思とは関係なく、キーワード検索中に偶然目にとまったり、ポップアップによって知らされる「懸賞・プレゼント応募サイト」が存在し、その景品につられて安易に個人情報を公開する危険性が安じられる社会情勢となっている。

そこで、安易な個人情報の公開や流出の危険性を理解し、危機管理意識を高めることを目的としてこのコンテンツを作成した。

	<p>スライド1</p> <p>「みんな、インターネットを使って調べ活動することがあるよね。」</p>
	<p>スライド2</p> <p>「検索エンジンにキーワードを打ち込むだけの手軽さで必要な情報を探ることができて便利だね。」</p>
<p>こんなメッセージや広告が 偶然目にとまることもあります！</p> <p>1秒PHは1秒のチャンスです!!</p> <p>こんな風に獲れることもあります。</p>	<p>スライド3</p> <p>「でもね… 探していないのに勝手にページが開くこともあるんだよ。例えば… ポップアップと言って、こんな風にひとりでにウインドウがでてきて情報を流すシステムがあるんです。」</p>
<p>すてきな景品がもらえるよ！</p> <p>たとえば…</p>  <p>インターネット上にある ～ 懸賞やプレゼント情報 ～</p>	<p>スライド4</p> <p>「それは、懸賞プレゼントの広告のこともあります。」</p> <p>「インターネット上にある懸賞やプレゼントは、雑誌などにでてい るものと違いがあるのかな？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数の多さや景品の豊富さに気づかせる ・ 自宅で手軽に気軽に応募できる便利さに気づかせる
	<p>スライド5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前ページの確認をする

	<p>スライド6</p> <p>「たとえば、アンケートに答えると賞金がもらえる、こんなページに出会うことがあるかもしれません。」</p> <p>「好きなメニューを選ぶだけで、1万円もらえるかもしれません。どうしますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勧誘ページを閲覧して疑似体験させる ・ 期待感を発表させる
	<p>スライド7</p> <p>「あとは、賞金の送り先となる自分の名前や住所などを記入するだけで応募完了です。」</p>
	<p>スライド8</p> <p>「最後に確認の画面が出るので、これでよければ送信のボタンをクリックすればいいのです。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート内容や送り先に手落ちがないことを確認しながらも、手軽さをアピールするために早口で手早く次に進める
	<p>スライド9</p> <p>「送信するとお礼のメッセージが出るから、あとは楽しみに待っていきましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どんな気持ちか発表させる
	<p>スライド10-1</p> <p>「なんかぶきみな“ありがとう”だね。」</p>
	<p>スライド10-2</p> <p>「何がおきたんだろう？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予想を発表させる。
	<p>スライド11</p> <p>「ほかにもあるかな？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別 ・ 年齢 ・ 趣味 家族構成 ・ 写真

	<p>スライド12</p> <p>「これを手に入れたらどんないいことがあるというだろう？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用（悪用）方法を想像させる
	<p>スライド13</p> <p>「個人情報がお金もうけにつかわれるんだよ。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体例を補足説明する
	<p>スライド14</p> <p>「みんなで音読してみよう。」</p>
	<p>スライド15</p> <p>「十分注意して他人に迷惑をかけたり、悪用されないように気をつけましょう。」</p>
	<p>スライド16</p> <p>「インターネットの便利さと危険性をじゅうぶん理解して学習に役立てていきましょう。」</p>